

阿南市立椿泊小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 16名
- ② めざす児童像
 - ・健康で たくましい子（体）
 - ・心豊かで、思いやりのある子（徳）
 - ・よく考えて、やりぬく子（知）
 - ・力を合わせてよく働く子（手）



③ 環境目標・テーマ

椿泊の海や山の自然を大切にし、美しい椿泊小学校にしよう。

2 行動方針

- ① 校内のごみの分別に努める。
- ② 校内の節電・節水に努める。
- ③ 校内のリサイクル活動に努める。
- ④ 地域の清掃美化活動に取り組む。



3 行動

- ① ゴミの分別
ゴミの分別や資源ゴミのリサイクルに全校で取り組み、ゴミ分別に対する意識が高まっている。

② 節電・節水

節電・節水シールを活用し、全校に呼びかけるとともに、前年の同月と使用量を比較し、節電・節水に努めている。



③ リサイクル資源の回収

親子で力を合わせてリサイクル資源ゴミの回収に取り組んでいる。新聞に折り込みチラシを入れて、校区全般にも協力を呼びかけ新聞紙や雑誌、空き缶の回収作業を行った。自分たちが集めた資源ゴミが、リサイクルされて再び資源として活用される仕組みを身をもって体験し、資源回収に対する意識がより一層高まった。



④ 防波堤の清掃活動

年に2回、全校児童で浜の清掃活動を実施している。学校から岬の先にある灯台まで続く300mほどの防波堤沿いの堤防道路や防波堤周辺に流れ着いたゴミや釣り人が捨てていったゴミを拾い、分別している。活動を通して、『故郷の海の自然環境を守ろう』という気持ちが育っている。



⑤ 夕焼け清掃

年3回、子ども会活動として、放課後に地域別に分かれ清掃活動に取り組んでいる。



⑥ 史跡の清掃活動

夏休みに、校区の女性ボランティアグループと一緒に市の指定史跡である森氏の墓清掃に取り組んでいる。



4 具体的効果

- ◆ 環境・エネルギー教育推進事業「新 学校版環境ISO」に再申請することにより、児童・職員の意識づけが今まで以上に高まった。
- ◆ 節電・節水シールを活用した呼びかけが浸透し、児童・職員の意識が今まで以上に高まった。
- ◆ 両面印刷の実践により、印刷に使用する用紙の削減が図られた。
- ◆ 自分たちの地域や地域にある史跡の清掃活動を通して、環境を大切にしようとする意識とともに地域を愛する心も育ってきている。
- ◆ リサイクル資源回収の活動を校区全体に広げることで、地域全体のリサイクル意識を高めることができた。
- ◆ 講師を招いての污水教室を開催したことで、水資源を大切にしようとする意識が高まった。また、洗剤の使用量を減らすことや油の適切な処理等により海や川の環境が守られることを知り、実践意欲が向上した。



5 改善点

- ◆ 児童主体の活動を今まで以上に活発にしたり、啓発活動にも力を入れ、保護者や地域全体へ「環境ISO」の意義を広めていきたい。